

Arni Kristjansson photo exhibition @ FANCLUB

『MYNDIR』展 開催のお知らせ

アイスランド人が見た日本の日常

2012年7月22日（日）～ 7月28日（土）

11:00～19:00 (27日(金)は15:00まで)

22日（日）Opening Party 17:00～19:00

@ FANCLUB 千葉県松戸市本町20-10 ルシーナビル 7F

アルニ・クリスチャンソン氏が撮る写真は、我々のすぐ近くで行われている日々の営みが切り取られている。しかしそれは、決して日本人には撮影することが出来ない。あまりに見慣れた日常だからだ。彼の目を通して、その陰影の美しさ、人々の表情の豊かさに気付かされ、そして驚く。

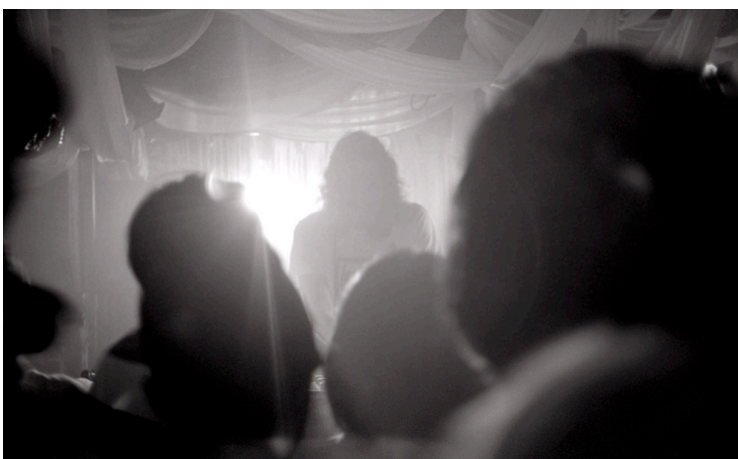
日本人の感覚を持ち合わせた異邦人である彼だからこそ切り取ることの出来た、日本の風景と言えるだろう。

もう一つ、彼の写真に引き込まれる理由がある。それは彼のユーモアのセンスだ。工事現場で何かを見下ろす3人の大人。美しい構図と陰影のこの写真も、よく考えてみればおかしな被写体だ。のどかな休日の街の写真に写る男性は、かなり大きなカメラを散歩させている。その被写体のチョイスには、思わず頬が緩んでしまう。

今回の「MYNDIR」は、彼にとって初の個展であり、彼自身がチョイスした10点を展示する。彼のグリーンの瞳に写ったモノクロームの日本を感じてほしい。



“Under Construction” 2011



“DJ Harvey” 2011

[アーティストプロフィール]

Árni Kristjánsson (アルニ・クリスチャンソン) 1981年アイスランド生まれ。2006年アイスランド大学日本語学科卒業。2011年東京藝術大学大学院修士課程卒業。現在、東京藝術大学博士課程に籍を置き、日本のクラブ・カルチャーを研究していて、自らもDJとして活動している。渋谷のJZ Bratで毎月行われているSOIL&"PIMP"SESSIONS主宰のジャム・セッション〈東京宣言〉のレジデントDJや、The Roomで開催される不定期パーティー〈Boogie in Motion〉のオーガナイズも担当。2011年からJapan Times紙の音楽ライターとしてクラブミュージックに関する記事を執筆。学生時代に購入したデジタルカメラをきっかけに写真にハマる。2008年、日本への移住をきっかけにMade in Japanのフィルムカメラに出会い、デジタルからフィルムでの作品制作に移行。今回の写真展「MYNDIR」は初の個展となる。

[Other Works]

2011年に外国人が電車内で見つめられた時のために作った偽物ブックカバー「日本人はなぜ外国人をみつめる？」が[CNNGo](#)や[RocketNews24](#)で取材された。

アイスランドの代表として、日テレの「笑ってコラえて！」で紹介され、「ネプ&イモトの世界番付」にパネリストとして出演した。

『MYNDIR』展の作品の高画質画像（前ページの画像をお使い頂けます）、素材、コメントの掲載等のお問い合わせはこちらまでお願いします。

Arni Kristjansson (アルニ・クリスチャンソン)

TEL : 080-5441-6618

arnikri@gmail.com

www.arnikristjansson.com